

# 第5次 千早赤阪村総合計画

令和4年度 ▶ 令和11年度

概要版

元気なあいさつで みんなで創る

『唯一』と であえる <sup>ここせ</sup> 金剛山のむら

令和4年3月

# 1 総合計画について

## ▶ 『総合計画』って、なに？

**1** 総合的かつ計画的に行財政運営を推進するため、むらづくりの基本的な理念や目標などの将来像を掲げ、実現するための諸施策を明らかにするものです。

**3** むらづくりの将来像を住民、地域団体、事業者、行政が共有し、協働で推進していくための指針であるため、村に関わる方々の意見を取り入れながら策定しました。

**2** 本村が総合的・計画的に村政運営を推進するための基本指針となる最上位計画です。

- 基本構想に示す将来人口目標は、「千早赤阪村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」(平成27年3月策定)を踏まえ、新たに定めるものです。
- 基本計画で示す施策のうち、重点的に取り組むものは、「第2期千早赤阪村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置付けます。



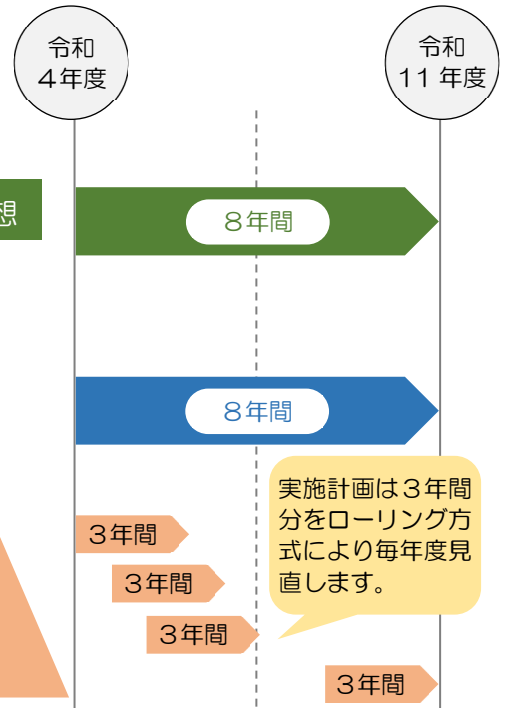
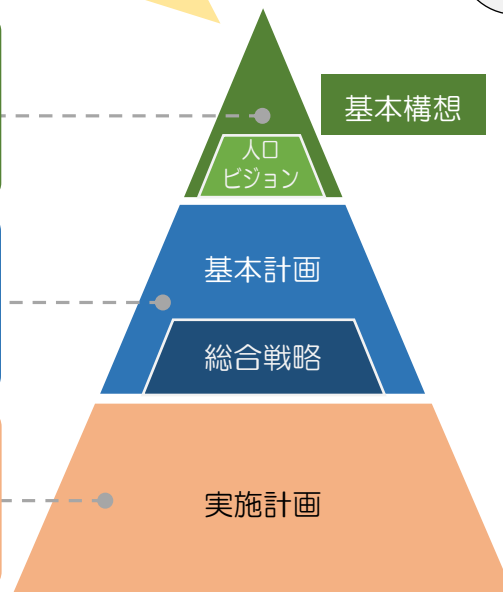
## ▶ 総合計画の構成と期間

「基本構想」、「基本計画」(うち重点施策を「総合戦略」、「実施計画」)により構成します。

将来像、基本目標、基本柱で構成。将来に向けて本村がめざす総合的かつ計画的な基本理念や目標を示すもの。

分野別の基本施策や成果指標を体系的に明らかにするもの。重点施策を総合戦略と位置付ける。

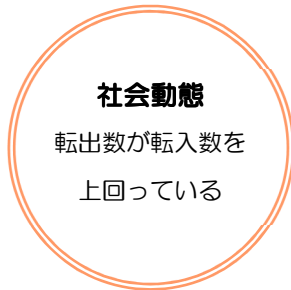
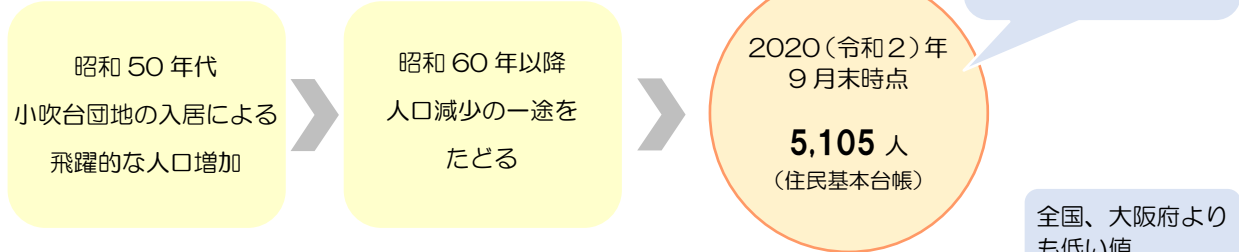
目標達成のための具体的な事業計画を明らかにしたもの。各分野の個別計画及び事業とする。



## 2 策定にあたっての現状

### ▶ 本村の概要

#### 人口



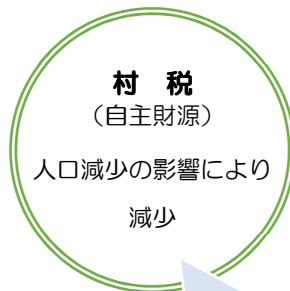
#### 産業・就業の状況



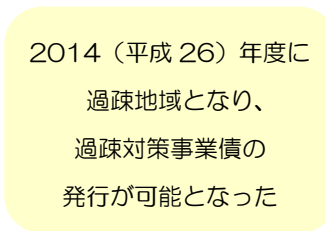
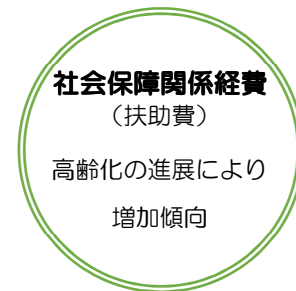
就業者数の割合では、  
第 1 次産業・第 2 次産業が減少、  
第 3 次産業が増加



#### 財政の状況



生産年齢人口の減少等  
今後も減少が予測される



新庁舎建設事業や村営の廃止が決定したロープウェイ施設の処理事業など多額の費用を要する事業の予定があり、基金残高(村の貯金)の減少が予測される

# 3 住民の想い

## ▶ アンケート調査からみる住民の想い

| 一般住民  | 設問内容  | 小中学生  |
|-------|---|-------|
| 73.3% | 千早赤阪村に愛着や誇りを感じているか<br>(愛着を「感じている」「少しは感じている」の合計) | 80.2% |
| 52.0% | 千早赤阪村に住み続けたいか                                   | 23.3% |
| 46.3% | 引っ越したい理由<br>「買い物など日常生活に不便」                      | 90.3% |
| 14.6% | 引っ越したい理由<br>「通勤・通学に不便」                          | 62.5% |
|       | 住み続けたくない理由<br>「買い物が不便だから」                       |       |
|       | 住み続けたくない理由<br>「交通の便が悪い」                         |       |

## ▶ ワークショップからみる住民・団体の想い

※主なものを抜粋して掲載

### ● 関係団体ヒアリング ●

若者に魅力ある  
村づくり

①子育て・健康・医療・福祉  
に関すること

史跡など  
今ある財産を  
活用していく

後継者を  
育成する  
環境づくり

②農林業・商工業・観光・  
コミュニティに関すること

イベントの開催

文化、芸術活動  
の深度化、  
イメージアップ

③教育・文化・生涯学習・  
スポーツ・人権に関すること

防犯に対する  
日常の意識向上  
や人材確保

④防災・防犯・道路・交通・  
環境保全に関すること

行政との連携に  
よる地域課題を  
解決する  
体制づくり

⑤協働・行政経営に関すること

### ● 住民ワークショップ ●

子どもの育児・  
教育に恵まれた  
良い環境である

道の駅や  
観光スポット、  
飲食店の増加、  
特産品開発

村の良さを  
発信

古い文化が  
息づいている

いくつになっても  
動ける  
交通手段の  
充実

道路や街灯の  
整備

役場・議員・  
村民・民間団体  
が協力した  
ビジョンづくり

## 4 むらの将来像

本村が8年間にめざす村の姿を示すもの、今後のむらづくりを推進する際の象徴として位置付けられるものです。

元気なあいさつで みんなで創る

### 『唯一』と である ここせ 金剛山のむら

「金剛山のむら」

はるか昔から、村では金剛山を「ここせ」と呼び親しんできました。この「金剛山のむら」には金剛山や楠木正成をはじめとした、村でしか感じることができない日々移りかわる自然の恵みや豊かで誇れる歴史のもとでの営みがあります。

「元気なあいさつ」

ご近所や地区内での人と人との心の距離が近く、あたたかい地域のコミュニティが息づいており、元気なあいさつが交わされ、心地よいつながりを感じることができます。

「みんなで創る」  
『唯一』と である

住民や地域団体、事業者、行政、そして村外の人々も交えた絆を結び、多くの健やかな笑顔と、「村にしかない唯一のもの」とである、「行ってみたい・住んでみたい・住み続けたい金剛山のむら」をみんなで創りましょう。



みんなが、元気なあいさつで、つながりを持ち、村への愛着を深め、

『唯一』と である ここせ 金剛山のむら」を創りましょう。



元気なあいさつで、共に活力を分かちあい、いつまでも活躍できるむらを創りましょう。

元気なあいさつで、絆を結び、尊重し、支えあえるむらを創りましょう。

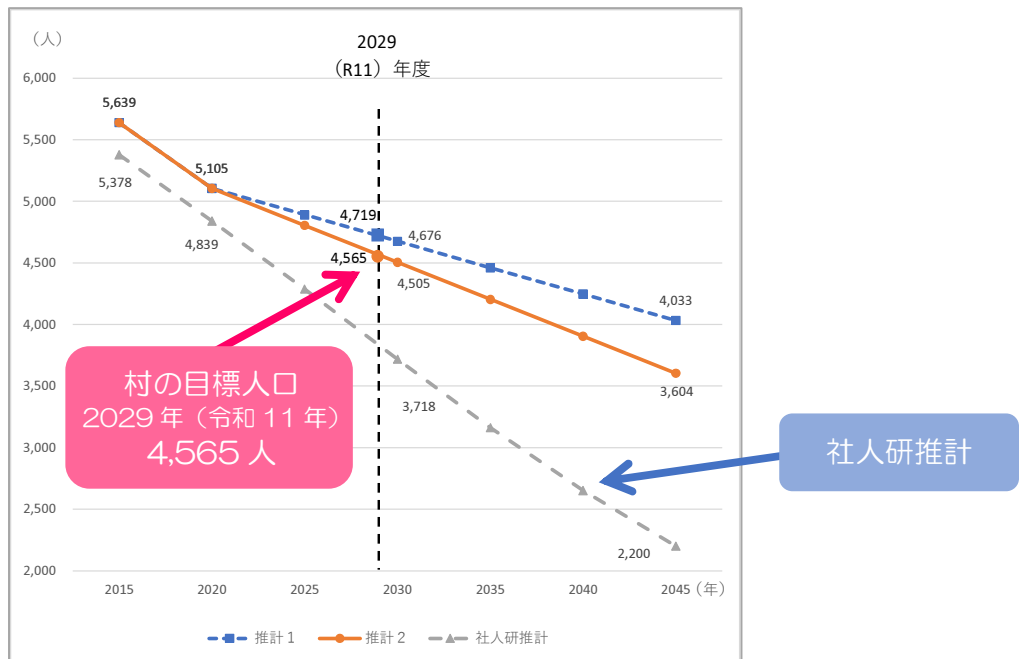
『唯一』とであるむらを創り、元気なあいさつでお出迎えしましょう。

# 5 将来人口の見通し

2018（平成 30）年 3 月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、本村の人口は 2045（令和 27）年には 2,200 人となると予測されています。また本村は、平成 2 年から平成 27 年の国勢調査人口の減少率が 29.4% となり、過疎地域として公示されました。

これらのことを踏まえ、以下の 2 つのパターンで人口推計を行いました。

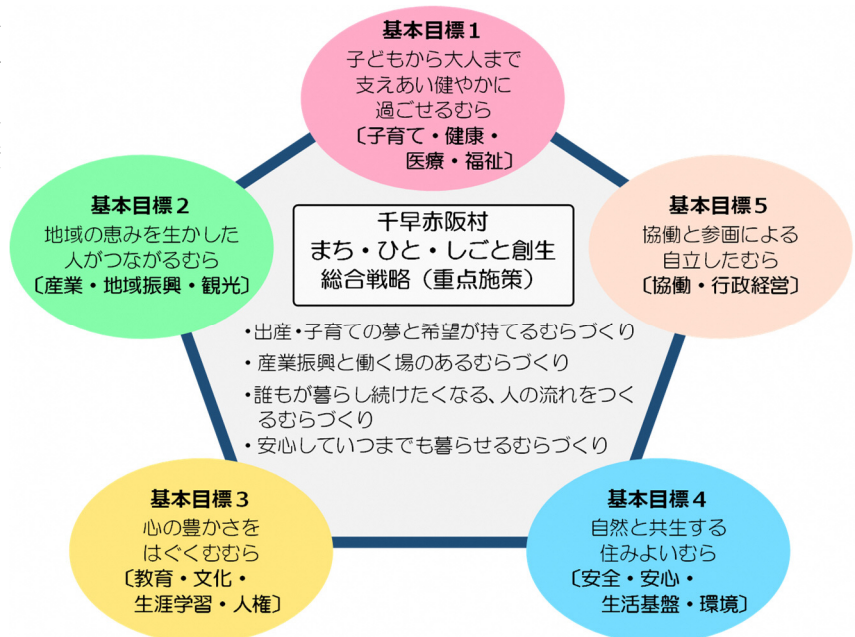
◆過疎地域の人口要件を参考とした人口推計（推計 1・2）



※社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所による人口推計（2018（平成 30）年 3 月公表）

# 6 総合戦略（重点施策）

基本計画で示す施策のうち、重点的に取り組むものは、「第 2 期千早赤阪村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置付けし、地方創生に特化した重点施策として、施策の方向性を明らかにします。



# 7 基本計画

基本  
目標

## (1) 子どもから大人まで支えあい健やかに過ごせるむら

### ● 基本柱Ⅰ. 子育て・健康・医療・福祉 ●

子育てをしやすいむらづくりを進めるとともに、高齢者をはじめとした医療や福祉のニーズにも応え、“子どもから大人まで支えあい健やかに過ごせるむら”をめざします。

基本  
施策

### 1 子育て支援の推進

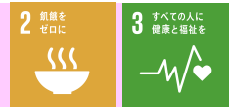


めざす姿 安心して妊娠・出産・子育てができ、笑顔で暮らせるむら

子どもを安心して生み、健やかに育てる切れ目のない支援環境をつくるために、一人ひとりに寄り添う相談支援や幼児教育・保育の提供、子育て支援情報の幅広い発信などに取組みます。

基本  
施策

### 2 健康増進・疾病予防の推進



めざす姿 心も身体も健康でいきいきと暮らせるむら

一人ひとりがライフステージに応じて健康を維持できるよう、各種検診や予防接種の周知・勧奨、地域医療体制の充実、食育活動の推進などに取組みます。

基本  
施策

### 3 福祉の充実



めざす姿 生きがいを持ち、地域の中で安心して暮らせるむら

誰もが住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるよう、関係部署の連携による重層的な支援体制の構築や、地域ぐるみで支えあい、助けあえる地域福祉活動等に取組みます。

## (2) 地域の恵みを生かした人がつながるむら

### ● 基本柱Ⅱ. 産業・地域振興・観光 ●

既存産業や農林業の振興をはじめ、新しい働き方として注目されているワーケーションやテレワーク等の誘致の検討、観光や地域コミュニティの形成に取り組み、“地域の恵みを生かした人がつながるむら”をめざします。

基本  
施策

#### 4 地域産業の振興



めざす姿 地域の恵みが活きる元気なむら

村内の産業を活性化させるため、農地の利用促進や、おおさか河内材の利用促進に取り組むとともに、企業誘致や空き家を活用した起業・サテライトオフィス化等に取り組めます。

基本  
施策

#### 5 観光・交流の促進



めざす姿 何度も来たいと思う、人がつながるむら

村のファンや関係人口の獲得に向け、自然環境や歴史遺産を活用した観光ルートの整備や、観光資源のSNS等を活用した発信、ふるさと応援寄付金制度の活用などに取り組めます。

基本  
施策

#### 6 移住・定住の促進



めざす姿 住みたい、住み続けたいむら

誰もが安心して快適に暮らしたいと思える住環境を形成するために、空き家の利活用や、住宅の耐震化等に取り組むとともに、地域おこし協力隊を活用したコミュニティ形成などにも取り組めます。



● 基本柱Ⅲ. 教育・文化・生涯学習・人権 ●

子どもたちの能力と感性を高め、将来の村を担う人材へと成長してもらえるよう教育を充実させるとともに、大人になっても生涯学習やスポーツ、文化芸術活動等を通して学び続けられる環境を作ること、 “心の豊かさをはぐくむむら” をめざします。

基本  
施策

7 学校教育の推進



めざす姿 未来を切り拓く、心豊かでたくましい子どもをはぐくむむら

「生きる力」の基礎を養い、学力の向上と教育力を充実し、確かな学力、豊かでたくましい人間性、健やかな体を育むため、学校教育の充実と、家庭や地域と学校の連携を図ります。

基本  
施策

8 社会教育の充実



めざす姿 生涯学び、楽しむことができるむら

誰もが参加しやすく、子どもから高齢者まで学べる環境を整備するため、ニーズに合わせた学習機会の提供やスポーツに取り組む機会の提供、くすのきホール等の施設のあり方を検討します。

基本  
施策

9 歴史文化の保存・活用



めざす姿 歴史や文化に親しみ、次世代に守り継がれるむら

豊かな文化、歴史遺産を保護し、伝統行事等を後世に引き継ぐために、あらゆる分野が連携し、文化、歴史遺産や伝統行事等を広く情報発信し、効果的に活用します。

基本  
施策

10 人権の尊重



めざす姿 お互いに尊重し合えるむら

一人ひとりの個性と多様性を尊重し、誰もがいきいきと暮らし、また、活躍できるむらをめざし、人権意識の啓発や相談体制を整備しながら、様々な問題に対応します。

## (4) 自然と共生する住みよいむら

### ● 基本柱Ⅳ. 安全・安心・生活基盤・環境 ●

災害が起こっても、安全・安心に暮らすことができる強いむらづくりや、生活の利便性の向上、本村の大阪府随一の自然環境の保全などに取り組むことで、“自然と共生する住みよいむら”をめざします。

基本  
施策

### 11 安全・安心の推進

3 すべての人に  
健康と福祉を



11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



めざす姿 安全・安心に暮らせるむら

安全・安心な暮らしを守るため、自主防災組織や避難行動要支援制度等の充実による地域防災力の強化と、一人ひとりの防犯、交通安全意識の啓発や支援を行います。

基本  
施策

### 12 生活基盤の維持と充実

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



14 海の豊かさを  
守ろう



15 陸の豊かさも  
守ろう



めざす姿 便利で安全な生活基盤のあるむら

日常生活を快適に送れるよう、道路、橋梁の維持管理や、持続可能な公共交通の実現、安全・安心な水道水の共有などに取組みます。

基本  
施策

### 13 自然・環境との共生

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



13 気候変動に  
具体的な対策を



15 陸の豊かさも  
守ろう



めざす姿 快適な生活空間を形成し、美しい自然環境と共生するむら

豊かな自然を守るために、自然環境保全に対する意識の醸成や、公共施設の再生可能エネルギーの導入、温室効果ガスの排出量削減などに取組みます。

## (5) 協働と参画による自立したむら

### ● 基本柱Ⅴ. 協働・行政経営 ●

住民の「自助」・「共助」や、協働のむらづくりを進めながら、地方創生や自治体 DX、過疎対策等の取組みを活用して、持続可能なむらづくりを進めるために、“協働と参画による自立したむら”をめざします。

基本  
施策

### 14 協働と参画のむらづくり



めざす姿 みんなでできることを考えるむら

住民が主体となる住民協働活動を支援し、協働のむらづくりを推進するために、タウンミーティング等の開催、地域づくりコーディネーター等の人材育成や外部人材の活用、村民、地域団体、事業者等が持つ豊富な知識、経験、技術をむらづくりに反映します。

基本  
施策

### 15 持続可能な自立したむらづくり



めざす姿 持続可能な自立したむら

限られた経営資源を効果的、効率的に活用し、健全かつ安定した財政運営に取り組むべく、柔軟な組織体制の構築と民間人材の積極的な活用、行政運営に関する情報の発信、デジタル技術の導入などを行います。

基本  
施策

### 16 シティプロモーションの充実



めざす姿 みんなが知りたい、みんなが知っているむら

村内外から千早赤阪村が魅力的なむらだと思ってもらえるよう、観光や子育て支援などあらゆる分野が連携し、SNS 等、様々な媒体を活用した情報発信に取り組めます。

## 8 持続可能な開発目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs: エスディーゼズ) は、2015 年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2030 年までの国際目標です。

本村では、人口減少や地域経済の縮小を克服し、持続可能なまちづくりと地域活性化実現のため、SDGs の考え方を取り入れ、めざすゴール等を関連付けて一体的に推進します。

元気なあいさつで みんなで創る  
『唯一』と である <sup>ここせ</sup> 金剛山のむら

第5次千早赤阪村総合計画  
《概要版》

発行年月／令和4年3月

発行／千早赤阪村 編集／企画課

〒585-8501 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 180 番地

TEL 0721-72-0084 (直通) FAX 0721-72-1880

HP <https://www.vill.chihayaakasaka.osaka.jp>